

昇龍道観光力の強化・ホスピタリティの向上



■分科会での検討

市場別部会(中国、台湾、香港)にて整理された受入環境整備に係る課題ごとに分科会を設置

①銀聯カード普及についての分科会



- ・銀聯カードの紹介・普及の必要性
- ・中国人観光客の誘客に向けた銀聯カードの活用方法・事例紹介

- (1)金沢会場(於フレンドパーク石川) 平成24年12月19日(水) 56人参加
(2)名古屋(於中部運輸局) 平成24年12月20日(木) 62人参加

- ①銀聯カードの紹介・普及の必要性(導入コスト、メリット等)
- ②中国人観光客の誘客に向けた銀聯カードの活用方策・事例紹介

②Wi-Fi使用環境拡充についての分科会

- ・Wi-Fi環境整備の紹介・必要性
- ・Wi-Fi環境整備による活用方策、事例紹介
- ・観光施設や観光案内所など整備場所に応じたモデル提案
- ・モデル実現に向けた課題

- (1)金沢会場(於フレンドパーク石川) 平成24年12月19日(水) 56人参加
(2)名古屋(於中部運輸局) 平成24年12月20日(木) 62人参加

- ①Wi-Fi環境整備の紹介・必要性(導入コスト、メリット等)
- ②Wi-Fi環境整備による活用方策・事例紹介

名古屋(於中部運輸局) 平成25年3月12日(火)

- ①整備場所に応じたモデル提案
- ②モデル実現に向けた課題

③多言語化環境整備についての分科会

- ・外国人旅行者の望む受入環境整備
- ・整備を進める上での手法
- ・多言語受入環境整備の先行事例紹介

名古屋(於中部運輸局) 平成25年3月12日(火)

- ①外国人旅行者の望む受入環境整備
- ②整備を進める上での手法(わかりやすさ、サイン、ピクトグラムの活用など)
- ③多言語受入環境整備の先行事例紹介

高山市内の観光案内所、観光施設を視察 平成25年3月26日(火)



④交通利便性向上についての分科会

(1) 分科会の設置に先立ち、実施あるいは検討中のもの

①試験運行

ア. リムジンバス (セントレア～名古屋市内)

- ・ 運行区間 セントレア～名古屋観光ホテル・名古屋東急ホテル
- ・ 運賃 1000円
- ・ 運行回数 8往復/日
- ・ 運行期間 平成24年10月1日～平成24年12月31日

※なお、3か月の運行実績を踏まえ、今後の事業実施に向けて検討中

イ. 2次交通

・ 北陸飛驒3つ星街道アクセスバス

平成25年1月12日(土)より、金沢から五箇山までのアクセスの確保、金沢から白川郷までの運行本数の拡充等を図るため、金沢駅(東口)～五箇山～白川郷を結ぶアクセスバスが運行開始

・ 下呂～セントレア

1日1往復運行、2000円(片道)、
平成24年10月19日～12月2日の期間限定

②インバウンド向け交通切符の企画・販売

セントレアから名古屋市周遊のための交通切符の企画・販売について、JR東海、名鉄、名古屋市交通局により検討中

(2) 分科会の設立

- ・ 昇龍道地域を広く周遊するインバウンド向けの交通パスカードの導入の可能性
- ・ セントレアへのアクセス改善

第1回分科会の開催 名古屋(於中部運輸局) 平成25年3月25日(月)

- ①周遊切符、複数交通機関連携による利便性向上事例
- ②交通機関と地域、観光施設との連携による周遊促進事例など

⑤広報PR分科会

- ・ SNSを活用した情報発信の実態(昇龍道での事例、他地域事例)
- ・ SNSやブログなど個人情報発信サイトを活用した効果的PR手法

第1回分科会の開催 名古屋(於中部運輸局) 平成25年3月25日(月)

- ①SNSを活用した情報発信の実態(昇龍道での事例、他地域事例)
- ②SNS、ブログなど個人情報発信サイトを活用した効果的PR手法

昇龍道セミナー

～Wi-Fi 環境整備分科会 (第2回) 及び多言語化環境整備分科会～

昇龍道プロジェクト推進協議会は、外国人観光客受入環境向上のために下記のとおりセミナーを開催します。第1部Wi-Fi環境整備(第2回)、第2部多言語化環境整備の2部構成の分科会となっております。「Wi-Fi環境整備」については、昨年12月に実施した事例中心の第1回目につき、具体的な導入モデルを提示します。また、「多言語化環境整備」については、外国人旅行者の移動特性、行動ニーズ、導入・整備のポイントについて事例を踏まえつつ解説します。

受入環境向上にご関心のある皆様のご参加をお待ちしております。



■日程・会場

平成25年3月12日(火) 13:00～17:00 (開場 12:30)

会場:中部運輸局(名古屋第1合同庁舎11階共用会議室)

名古屋市中区三の丸2-2-1 (地下鉄名城線市役所より徒歩数分)

各分科会共
先着 100名

■対象 昇龍道プロジェクト推進協議会会員の方 (現在会員でない方でも参加可)

■プログラム

第1部 Wi-Fi 環境整備分科会 (13:00～14:30)

①Wi-Fi環境整備のモデルケースの提案と実現上のポイントについて

モデル①:観光案内所等の拠点施設での環境整備モデル

モデル②:特定エリア(駅構内等)での環境整備モデル

モデル③:広域エリアでの環境整備モデル(複数観光地のネットワーク化)

講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 観光政策室

②モデルケースの実現に向けた取り組み課題の共有(質疑・意見交換)

サービス提供事業者を交え、実施上の留意点等の説明・質疑・意見交換の場を設け、取組上の留意点等を皆さんと一緒に考えていきます。事前に質問等をお寄せください。(同席いただくサービス事業者は現在調整中です。)

第2部 多言語化環境整備分科会 (14:45～17:00)

①外国人旅行者の望む受入環境整備(駅、2次交通、バス停、まち歩きマップ、誘導サイン等)

②整備を進める上での手法(わかりやすさ、サイン、ピクトグラムを活用、マップとの連動等)

③多言語受入環境整備の先行事例等(中部運輸局、北陸信越運輸局管内を中心とする事例紹介)

講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 観光政策室

今後の予定:3月25日(月) 交通利用の利便性向上分科会/広報PR分科会 会場:中部運輸局

3月26日(火) 多言語化環境整備・現地視察会 in 高山 会場:高山市

※上記分科会等については、追って詳細をご案内します。

■問合せ先

中部運輸局企画観光部

担当:廣瀬、白木

TEL 052-952-8005

北陸信越運輸局企画観光部

担当:西川、加藤

TEL 025-285-9181

昇龍道セミナー 参加申込書 (FAX 送付用)

申し込みFAX番号: 052-952-8085

■申し込み先

昇龍道プロジェクト推進協議会事務局

中部運輸局企画観光部 担当: 廣瀬、白木 TEL 052-952-8005 FAX 052-952-8085

本申込書をファックスいただくか、電子メール(syoryudo@cbt.mlit.go.jp)にて申し込みを受付けます。電子メールで申込される場合は、件名を「昇龍道 3 月セミナー申込」とし、申込用紙の項目をもれなく記載して送付ください。申込締切は平成 25 年 3 月 5 日(火)必着といたします。

なお、参加証は発行いたしません。先着順での受付とし、定員を超えた場合、参加いただけない場合がございます。その場合は、上記担当よりその旨ご連絡差し上げます。

【記入欄】 分科会名の記入漏れのないようご注意ください。

貴団体・企業名			
ご参加者名	お名前	所属部署・ご役職	参加分科会 (※必ず○をお付け下さい)
			① Wi-Fi環境整備 ② 多言語化環境整備
			① Wi-Fi環境整備 ② 多言語化環境整備
			① Wi-Fi環境整備 ② 多言語化環境整備
お電話番号	()	—	
FAX 番号	()	—	
メール (連絡担当)			@

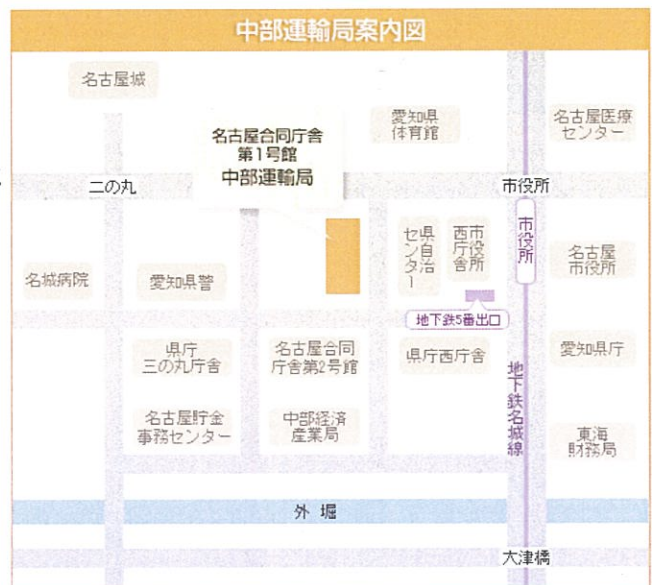
※ 4 名以上参加を希望される場合は、
当該ページをコピーして申し込んで下さい。

※ 参加証は発送いたしません。

本申込書をもって参加受付とします。

※ お寄せいただいた情報はこのセミナーの管理用に
使用するもので、他の用途には使用しません。

◆ 事前にご質問があれば、こちらにお書き下さい。



■ 地下鉄名城線「市役所駅」5番出口より徒歩1分

昇龍道セミナー＆視察会

～交通利用の利便性向上に関する分科会、情報発信分科会及び多言語化環境整備分科会(視察会)～

昇龍道プロジェクト推進協議会は、外国人観光客受入環境向上のために下記のとおりセミナーを開催します。3月25日が交通利用の利便性向上に関する分科会と「情報発信」分科会、翌26日が多言語化環境整備の現地視察会となっております。「交通分科会」においては、周遊チケットや外国人向けサービスなど交通事業者と観光地が連携した事例を中心に紹介し、昇龍道エリアにおける可能性を探ります。また、「情報発信部会」においても、主にはSNSなどを活用した効果的な情報発信の事例を学びます。また、「多言語化環境整備分科会」の第2回目は、昇龍道エリアのなかでは先進地事例といえる高山市において実際に視察しながら学ぶ場を設けます。



■日程・会場

◆平成25年3月25日(月) 13:00～17:00 (開場 12:30)

会場:中部運輸局(名古屋第1合同庁舎11階共用会議室)

◆平成25年3月26日(火) 11:15～17:30 (集合 11:15)

集合:飛騨高山観光案内所(JR高山駅・改札前)

3/25 分科会
先着 100名
3/26 分科会
先着 30名

■対象 昇龍道プロジェクト推進協議会メンバーの方(現在会員でない方も参加可)

■プログラム

3月25日(月)

◆第1部 交通利用の利便性向上に関する分科会 (13:00～15:15)

- ①周遊切符、複数交通機関連携による利便性向上事例
- ②交通機関と地域、観光施設との連携による周遊促進事例
- ③交通機関における多言語受入環境サービス、外国人向け付加サービス事例
- ④昇龍道における交通利用利便性向上策の方向性提案

講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 観光政策室

講師(事例発表):交通事業者(予定)

◆第2部 情報発信分科会(15:30～17:00)

- ①SNS(facebook、twitterなど)を活用した情報発信の実態(昇龍道での事例、他地域事例)
- ②SNS、ブログなど個人情報発信サイトを活用した効果的PR手法
- ③昇龍道ネットワーク構築の考え方

講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 観光政策室

3月26日(火)

◆多言語化環境整備分科会・現地視察会(11:15～17:30)

※高山までの移動費、昼食費はご負担ください。

説明:高山市観光戦略室 コーディネート:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

市役所にて説明～観光案内所～濃飛バスセンター～(バス移動)～飛騨の里～市内中心部～古い町並み～解散

※観光案内所での多言語対応、市内誘導サイン・マップ、飲食店、物販店等での対応、バス移動の多言語対応等。

■問合せ先

中部運輸局企画観光部

担当:廣瀬、白木

TEL 052-952-8005

北陸信越運輸局企画観光部

担当:西川、加藤

TEL 025-285-9181

外国人観光客受入環境促進セミナー 参加申込書 (FAX 送付用)

申し込みFAX番号: 052-952-8085

■申し込み先

昇龍道プロジェクト推進協議会事務局

中部運輸局企画観光部 担当: 廣瀬、白木 TEL 052-952-8005 FAX 052-952-8085

本申込書をファックスいただくか、電子メール(syoryudo@cbt.mlit.go.jp)にて申し込みを受付けます。電子メールで申込される場合は、件名を「昇龍道 3 月下旬セミナー申込」とし、申込用紙の項目をもれなく記載して送付ください。申込締切は平成 25 年 3 月 21 日(木)必着といたします。

なお、参加証は発行いたしません。先着順での受付とし、定員を超えた場合、参加いただけない場合がございます。その場合は、上記担当よりその旨ご連絡差し上げます。

【記入欄】 分科会名の記入漏れのないようご注意ください。

貴団体・企業名			
ご参加者名	お名前	所属部署・ご役職	参加分科会 (※必ず○をお付け下さい)
			① 交通環境 ② 情報発信 ③ 高山視察
			① 交通環境 ② 情報発信 ③ 高山視察
			① 交通環境 ② 情報発信 ③ 高山視察
お電話番号	()	—	
FAX 番号	()	—	
メール (連絡担当)		@	

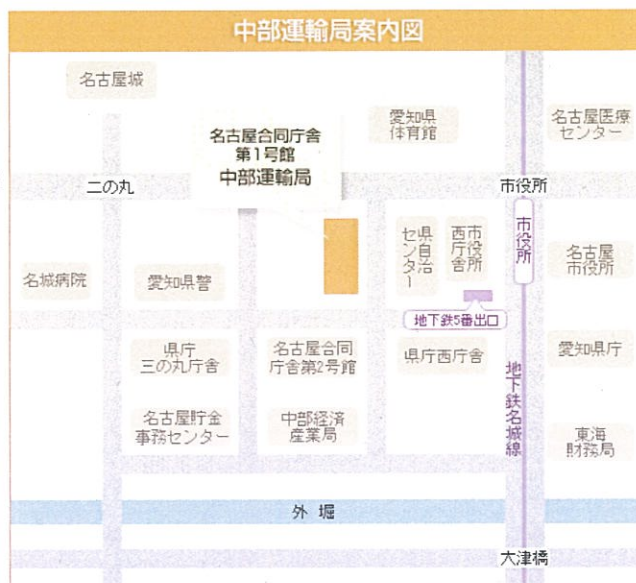
※ 4 名以上参加を希望される場合は、当該ページをコピーして申し込んで下さい。

※ 参加証は発送いたしません。

本申込書をもって参加受付とします。

※ お寄せいただいた情報はこのセミナーの管理用に使用するもので、他の用途には使用しません。

◆ 事前にご質問があれば、こちらにお書き下さい。



■ 地下鉄名城線「市役所駅」5番出口より徒歩1分

昇龍道プロジェクト推進協議会分科会 (銀聯カード分科会及び Wi-Fi 環境整備分科会)

参加者アンケート集計結果

①金沢会場

日時:平成24年12月19日(水)13:00～ 17:00

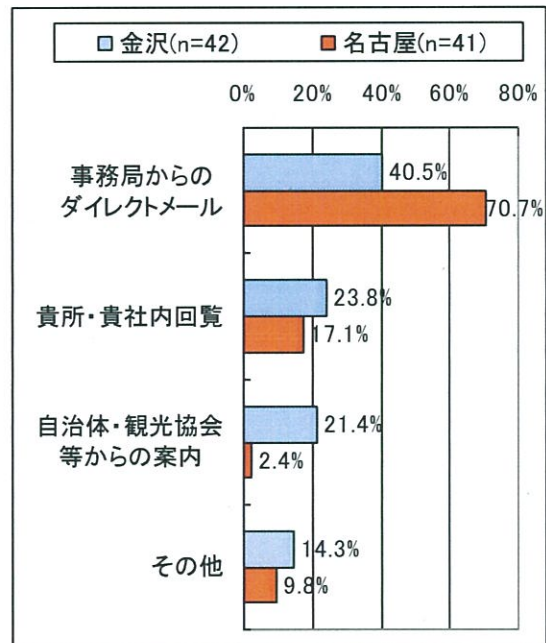
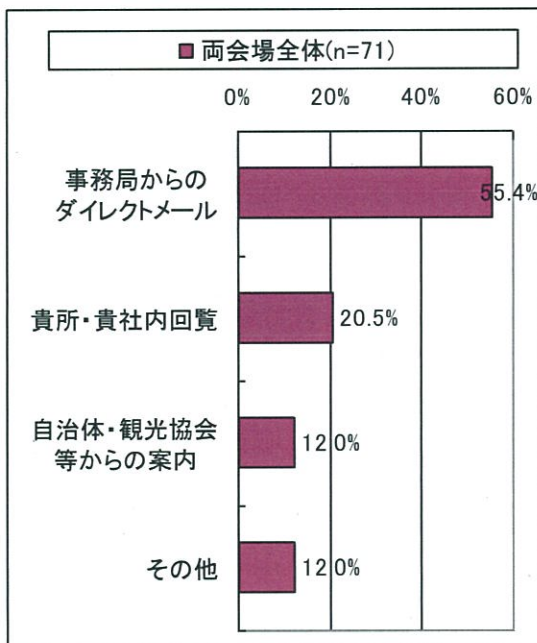
場所:フレンドパーク石川 (石川県勤労者福祉文化会館)2階

②名古屋会場

日時:平成24年12月20日(木)13:00～ 17:00

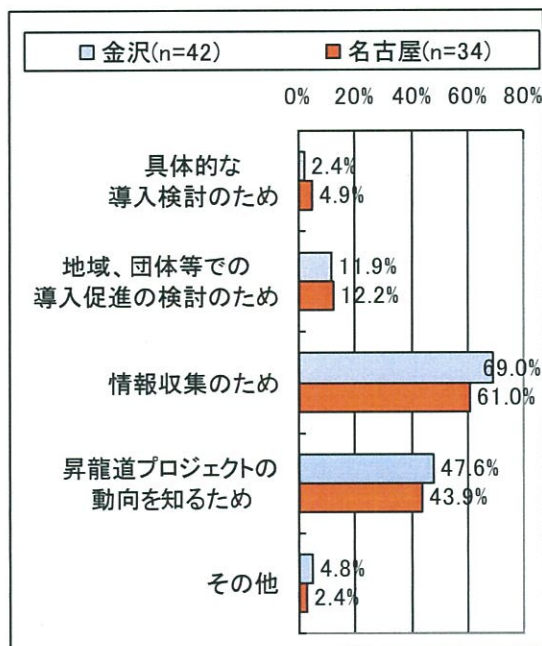
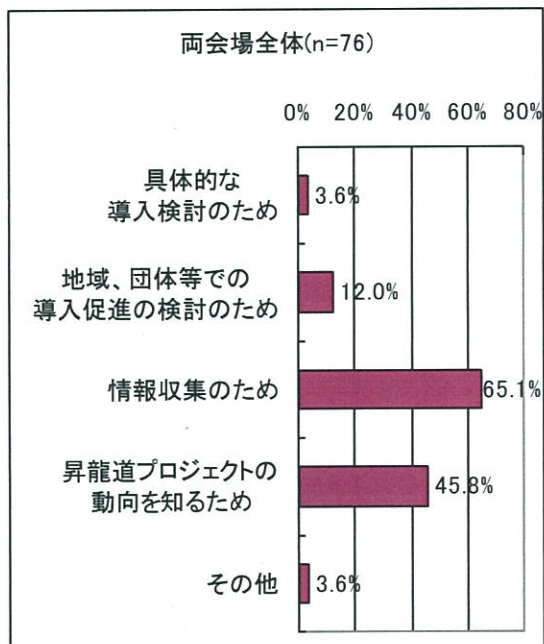
場所:中部運輸局11階 共用会議室

◆セミナーを知ったきっかけ

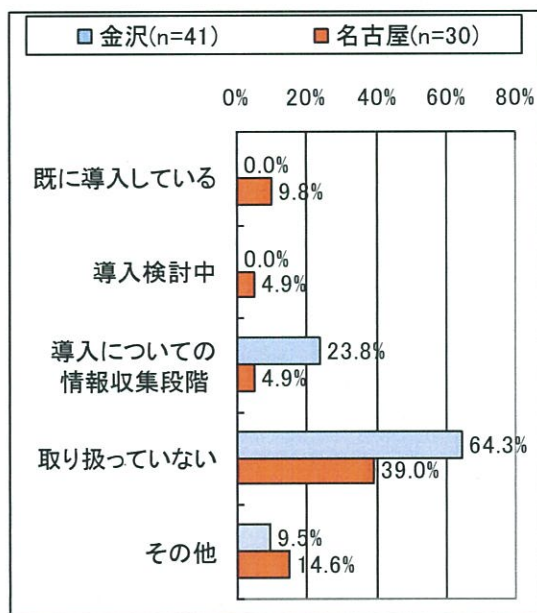
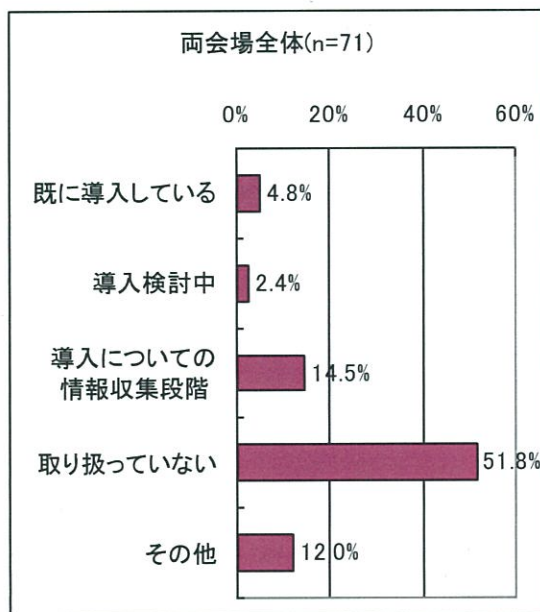


【銀聯カードセミナー参加者に対する設問】

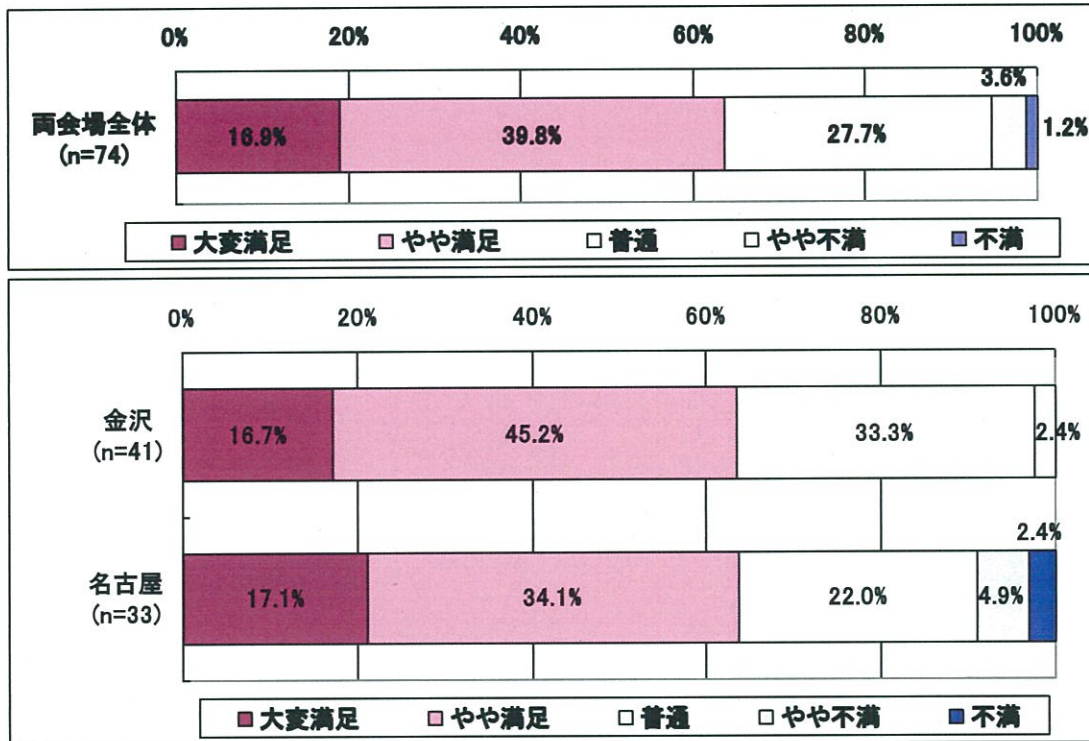
◆本日のセミナーに参加した目的（複数回答可）



◆貴所、貴社、貴団体における銀聯カードの取り扱いの現状



◆本日のセミナーに対する満足度。

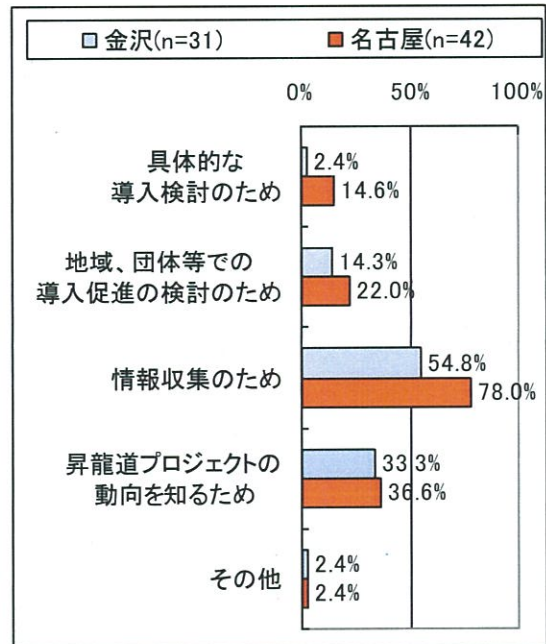
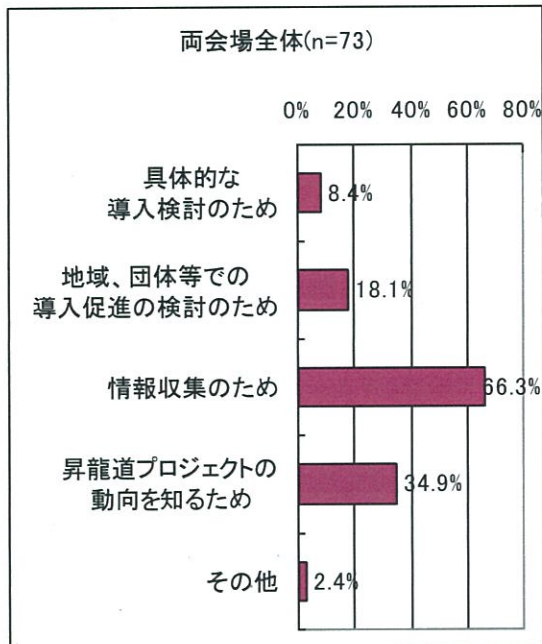


◆その他感想、あるいは今後知りたい情報等

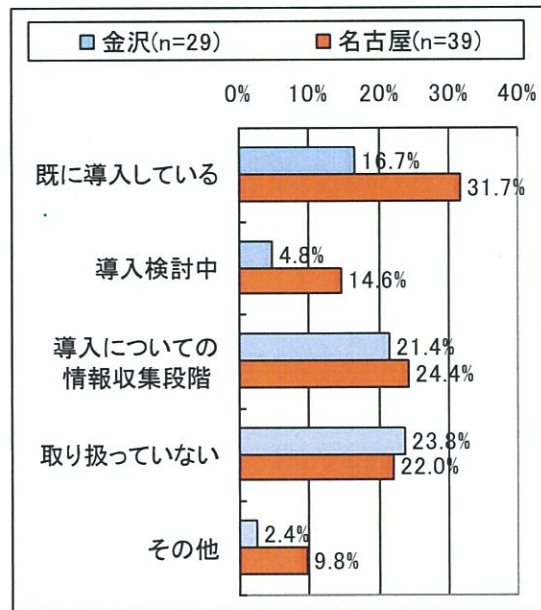
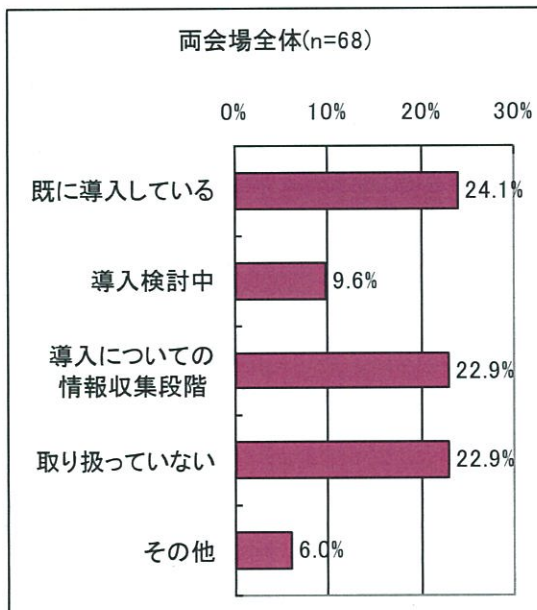
感想あるいは今後知りたい情報等	会場
感想あるいは今後知りたい情報等	会場
スマホ決済について、もう少し詳しい資料が欲しい。	名古屋
講師の方が多すぎて、情報が分散してしまった。非常に面白い内容であった。	名古屋
銀聯のカードの現状、今後の展望について知ることができて良かった。	名古屋
北陸地域における銀聯カードの普及状況、取組み事例	金沢
中国銀聯による中国側の紹介は貴重であったと思います。銀聯の考え方について、中国側の考えを知る機会がよりあった方が良くと思います。	名古屋
短時間の説明のためわかりづらいところがあった。	名古屋
銀聯カードのことがわからなかったけど、知れたので良かったです。	金沢
銀聯カード導入の意義・必要性がよく理解できました。特に唐代表の話が参考になりました。	金沢
クレジット業界の専門用語と思われるが、「アクワイアラ」「アクワイアリング」という、私には聞きなれない言葉が使われていて意味不明だった。	金沢
銀聯カード取扱い加盟にあたってのイニシャルコストについて聞きたかった。	金沢
もう少し具体的なコストの説明があると良い。個社1店舗、企業複数店舗(モデル)、商店街、組合(モデル)での掲載	名古屋
企業PRIになりすぎ。国・広域が事務局である以上、この分科会で何を提供・議論を深めようとしているのかの意図があるべきでは。もう少しうまくコンサルタント会社を使うべきだ。	名古屋
各事業者に対してどのように発信すれば良いか、事例集があればいただきたいが、レンタカーを利用することは国際運転免許証が必要であり、現状の観光客は団体等で来日されるので、カード導入を検討することはまだ先のことかなあと考えられる。ただ、レンタカーの決済はほぼ100%に近くカード決済である。	金沢

【Wi-Fi環境整備セミナー参加者に対する設問】

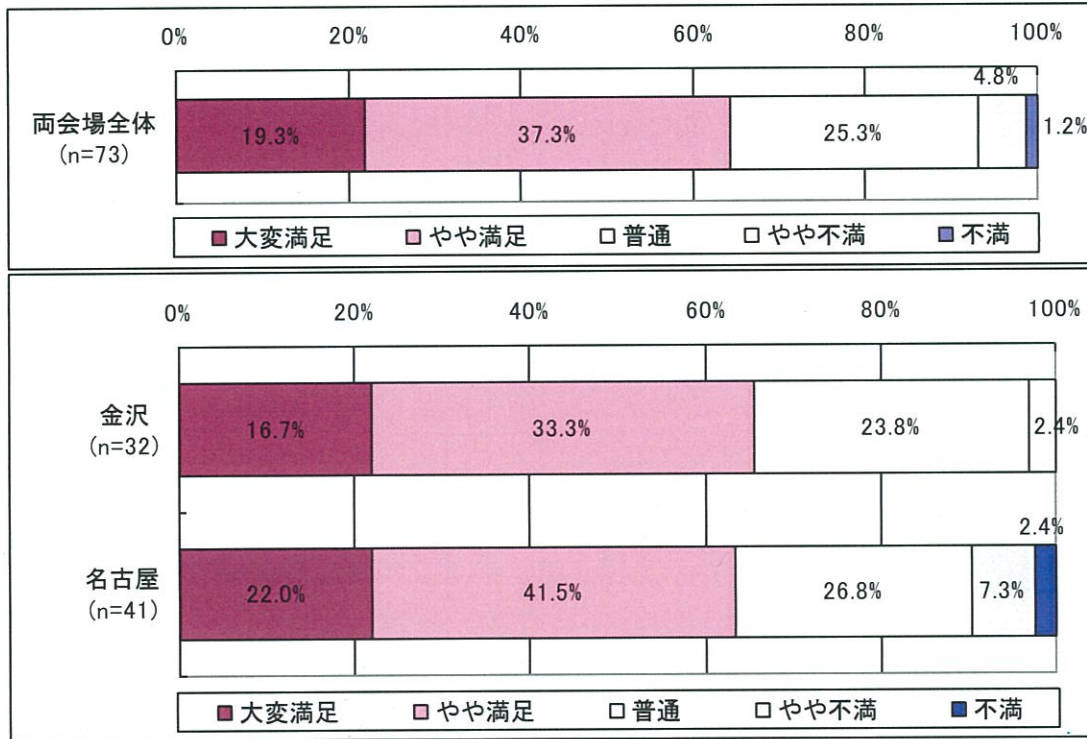
◆本日のセミナーに参加した目的（複数回答可）



◆貴所、貴社、貴団体におけるWi-Fi環境の現状



◆本日のセミナーに対する満足度。



◆その他感想、あるいは今後知りたい情報等

感想あるいは今後知りたい情報等	会場
来年度の重点事業です。目標 福岡・京都・浦安です。	名古屋
非常に面白い内容であった。講師の方が多すぎでは？	名古屋
昇竜道プロジェクトとして安価なWi-Fi環境整備の可能性について検討することが必要と思う。	名古屋
Wi-Fiを無料でひきたいと考えている地域はたくさんある。国もこれを支援すべきだと考える。国の具体的な対応を知りたい。	名古屋
Wi-Fi設置の詳細な内容を知りたい。どこに連絡すれば良いのか…とか。	金沢
富士通のプレゼンで自治体予算を比較するコメントがあったが、問題があると思う。全体的に講師の質にバラつきがあった。	名古屋
独・仏・韓などの他国の取組みも紹介いただけると、視野が広がり必要性も理解しやすくなるのではないのでしょうか？国内の先進事例は参考になりました。	金沢
基盤と提供するものどちらも整備することが大切だと感じました。地域の人・外国人・観光客のすべてにプラスになる仕組みを考えることの重要性を感じました。	名古屋
インターネットで調べれば手に入る程度の情報しか提供されませんでした。導入の成功・失敗事例などをまじえてWi-Fiを紹介してもらえると参考になりましたが、期待はずれでした。…と思いましたが、MURCのセミナーは有意義でした。	名古屋
Wi-Fiの整備費用(光ファイバーの場合、LTEの場合etc.)、ランニングコスト、外国人観光客などがWi-Fiでどのような情報提供を受けているか検索しているか。	金沢
Wi-Fiのことがわかり、イベント等に活用できるのだなと思いました。	金沢
昇竜道PJとしてどう取り組んでいかれるのでしょうか(Wi-Fi環境整備について)	名古屋
参加者の質問に対して全く回答が的外れだったのが残念です。誰も何も考えてないのでしょうか…。Wi-Fiについては認識が3年くらい遅いと思います。	名古屋
講師の話し方がわかりづらいし、暗い人がいた。	名古屋
概要は知っているのですが、それぞれもう少しつっこんだ内容(費用・問題点)でのお話を伺いたかった。	名古屋
これからの整備期間スタンスを考えて行きたい。よろしく願います。広域連携を模索している案が欲しい。安く行おうとする事は決してうまくいきません。	名古屋
広域連携を目指す議論がなく、分科会の位置づけが不明。	名古屋
ガラケーしか持っていない私には、今回のセミナーも難しすぎる。動画を使って「そもそもアプリとは何か」「スタンプラリーとはこのようなもの」といったレベルから始めて欲しい。「箱根補完マップ」の「補完」ってどういう意味？	金沢
企業PRIになりすぎ。国・広域が事務局である以上、この分科会で何を提供・議論を深めようとしているのかの意図があるべきでは。もう少しうまくコンサルタント会社を使うべきだ。	名古屋
行政として負担なしの事例の参考になった。今あるWi-Fiスポットを昇竜道として活用していく方策の検討が必要と感じた。	金沢